

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141
16年11月21日

「団結するには、学習し実践すること」

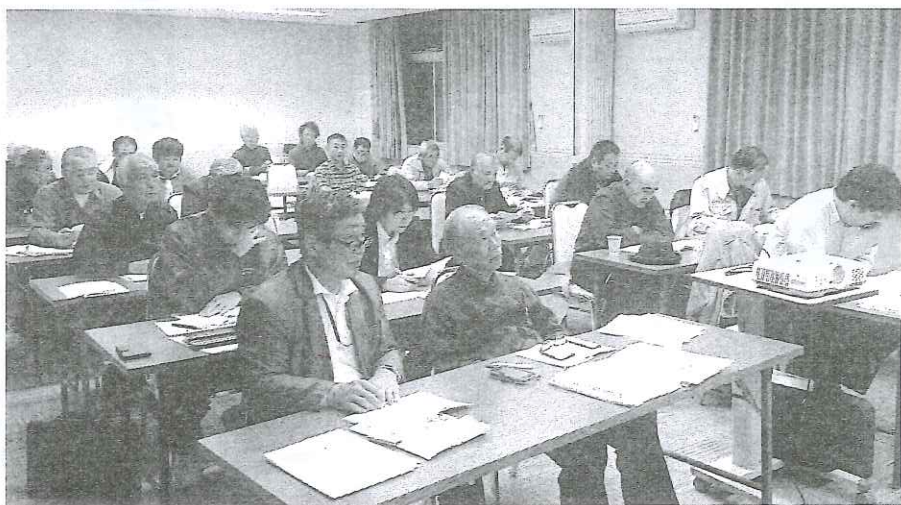
役員学習交流会

一月一二日から一泊二日で西区にあるメイワサンピアに於いて、役員学習交流会を開催、二六名が参加されました。

高橋会長（美術館経営）からは「今だけ、金だけ、自分だけ」の考え方が蔓延しており、これの良いのかとの問題提議がなされました。

この現状を打開するためには、民商が団結すること、団結のためには学習し、実践することが重要、それには三役はもちろん、支部役員や会員、事務局員も含めた組織全体の団結が重要だと訴えました。

共済や納税緩和処置を学習した後、懇親会を行い、お酒の力も借りおおいに交流を深めました。懇親会の後もいくつかの部屋で夜遅くまでにぎやかに交流？していました。



二日目は二つに分かれて分散会を行い、現在の支部の状況や会員訪問の様子、若手の集まりなどの経験交流で活発な議論がなされました。

集まって話せば、情報が入るし相談もできる、知恵も出るし元気ももらえる。集まる仲間を増やし、元気な民商をみんなで創って行きましょう。

日程

- ・一月二日 名刺交換会
- ・一月二七日 県共済会（命と健康を守る交流会）
- ・二月一日 県連決起集会

新潟市交渉で、

中小業者の振興や福祉のために

予算を！と要望

一月四日、市庁舎に於いて、高橋会長ら一〇名参加の新潟民商を含む諸団体合わせ約一〇〇名が集まり、「地域経済を振興し、住み続けられる新潟市をめざし、くらし・福祉・教育の諸施策の充実」を求める要望書を手渡し、市民生活を安心して送れるよう



な各種施策を要請しました。営業不振など地域経済の実情を踏まえ、国保料の引き下げ・減免の拡充、保育士の待遇改善・認可保育園の増設など安心して子育てできる環境の改善や、健康住まいリフォーム助成の一般枠の復活などの要請に対し、市側の回答は、国の基準に沿って定めている。市の予算的にも難しいなどに留まりました。これに対し、参加者からは、「BRTなどの無駄遣いを是正すれば、予算は充分あるのでは？」「子供を産んでも、預けるところがなく、働かず収入を得られない。」「健康住まいリフォーム助成の一般枠は、一部の受益者（業者）のためではなく、地域に経済効果をもたらす福祉にも繋がり、住民にも喜ばれ市民全体のためになる。」などの発言がされていました。

また、保育園入園申込書には第5希望記入欄まである。国保料減免執行件数は6件のみ、窓口負担軽減の国保資格証の緊急避難措置に至っては0件など市側の対応の劣悪さも露呈しました。引き続き、市民の側に立った行政を求める運動が必要です。



料飲支部役員会

一月八日(火) 料飲支部役員会を、役員のお店『鮮食彩山賀』で開催しました。本部役員の中橋雅彰さん(建築業)からも出席して頂き、「今月二〇日の全青協と同じく、今月二二日の名刺交換会に向けて青年部と婦人部が力を合わせて連日、各支部を訪問しています。青年部に協力お願いします。」など訴えが行われ、訪問行動の様子や西区若者の集いの様子などの報告もして頂きました。



料飲支部の役員の中からは「料飲業者が参加しやすい時間帯で、会員の店を使って名刺交換会を開催してみるのも良いかも!」「新潟民商の未来が青年部にかかっている、青年を盛り上げていかないと!」などの声も聞かれ、活発な意見交換が続きました。

Q&Aで理解深まる

黒埼支部 共済学習会

一月七日(月) 寺尾にある『ピザ酒屋MOJA』にて、黒埼支部の共済学習会が開催され、六名が参加されました。

今年の六月の制度変更点の説明を受けた後、共済役員の中橋さん(酒類販売)を中心に、Q&Aを使って学習しました。今まであやふやだった点の確認できたり、入院の請求権が三年あることを知り、「以前入院したとき、請求しなかったが、まだ間に合うかも」など、質問ごとに声が上がりました。少人数ならではの良い学習会でした。

その後は美味しい料理とお酒で交流し、西区若手の集まりのことや、ご自分の商売、県知事選など、話題に事欠くことなくあつという間の時間でした。「次は日帰り温泉でやろう!」との声も上がり、次回が楽しみになる学習会でした。



しもまち・中央支部合同

母親大会報告会

一月一日(金)『鮮食彩山賀』で、しもまち四名・中央三名と野本市会議員を招き、しもまち支部は婦人部総会も兼ねて、報告会を開催しました。渡辺会長(美容業)から、全婦協総会に向けて拡大運動に奮闘し、全国で五本の指に入るほどの成果を上げた事。五六条廃止運動では、四名が紹介議員になってくれた事。県知事選の報告で会場が沸いたことなど、挨拶がありました。

野本議員からは、「年に二回、大学生・高校生と政治を語る会がある。BRTの社会実験には九千万円、住民バス(にこにこ号)には年間で七千万円かかっている。BRTは市民の生活に寄り添っていない。と話す、学生から『市政を知る機会をもっと増やして欲しい』との声があがった。市民にも、もっと知らせていきたい」と語られました。

母親大会には、しもまち支部・渡辺会長(美容業)・大山副部長(美容業)、中央支部・富部さん(製版業)が参加。「問題別集会『平和と民主主義』日本はこれがセットになっている。戦後七〇年、日本だけ戦争していない。これは凄い事なんだと痛切に感じた」「『標的の村』を観てから、講演で沖縄の状況を聞いたので、より伝わった」と感想が出されました。



懇親会では、めずらしい山菜の天ぷら(ミズノミ、ムカゴ等)が登場し、料理の話に花が咲いたり、富部さんの旦那さんがイワナやヤマメの溪流釣り体験教室をやっているとの話に、今後の交流に活かそう!? など盛り上がりしました。トランプ大統領になって日本にどう影響するか、などの話題もあがり、充実した会になりました。最後に手作りのポケットポリ袋をおみやげにお開きとなりました。